

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 服 部 哲 明

学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1 電話0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第3回）

2 会議の構成（敬称略）

委 員	伊 藤 みち子	本校卒業生
	加 藤 奈生子	土岐地区更生保護女性会
	竹 下 啓 太	あいちビジネス専門学校教務科長
	柘 植 悦 朗	東海旅客鉄道株式会社土岐市駅長
	土 本 忠 孝	土岐口財産区議長
学校側	校 長	服 部 哲 明
	教 頭	服 部 博
	事 務 長	古 田 克 治
	教 務 主 任	吉 田 敏 雄 (村 橋 正 則)
	生徒指導主事	横 田 勇 司
	進路指導主事	林 勇 二 (高 木 雅 信)
	(記 録)	小 森 範 子

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。第3回目の今回は1年間のまとめと反省を行う。

4 会議の開催 日 時 平成22年3月17日(水) 13:30~15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員4名 学校側7名 計11名が参加

5 会議の概要

(1) テーマ 一年間の反省

学校長より

年初に遅刻 500 回以内という目標を掲げて取り組んできたが、不登校や怪我等の遅刻を除き、おおむね達成することができた。また、今年度の卒業生が、一般入試で慶応大学に合格することができた。このように難関大学に進学する先輩を見て、後輩もチャレンジしていくという気運ができた。次年度は、中学校に向けたホームページの充実を図りたいと考えている。

① 教務部

ア) 保護者アンケート

<結果より分かること>

- ・家庭での高校生活の話が少ない。
- ・家庭学習の時間が非常に少ない。
- ・進路に関する情報交換が家庭でされていない。
- ・帰宅時間に対する不満がある。
- ・保護者は、大学進学・就職・資格取得・部活動についての指導を期待。

イ) 各種検定・資格取得状況

- ・補習等の工夫を行ったことも成果に結びついた。
- ・全商1級3種目以上合格者数が昨年より増加（41人→67人）

ウ) その他

- ・コミュニケーションコースのカリキュラム変更
（海外研修の廃止により）
- ・保護者の方にホームページを見ていただくための呼びかけ
（家庭で案内文書を見せない等への対策）
- ・今年度2名の退学者（1名は経済的理由、1名は入学時からの休学者）
- ・教育相談室などを活用し、不登校生徒の登校を支援し、成果がでた。

② 生徒指導部

ア) 遅刻指導

- ・3年生の遅刻数が減少した。
- ・始業3分前に校歌を流す取り組みが良かった。

イ) 生徒の安全

- ・事故防止のために、交通安全指導を実施した。
- ・駅等での自転車被害が多かった。（ハンドルを交換する位等）
- ・変質者の被害は、他校に比べると少ない。

ウ) 各種部活動の記録

- ・全国大会出場 ウェイトリフティング部・自然科学研究部・簿記部
- ・東海大会出場 ソフトテニス部女子・陸上競技部
- ・土岐商卒業生（巨人の土本選手）の活躍

③ 進路指導部

ア) 平成21年度進路状況

- ・就職29% 進学71%（例年に比べ進学の方が約10%多い）
- ・結果は別として難関私立大学や国公立大学に受験しようという意欲を持つ生徒が増えてきた。
- ・看護・医療系に進む生徒が21名と増えた。看護師不足なので、就職等の道が開けている。意欲のある生徒には、どんどん支援を行っていく。
- ・64名が就職し、うち3名が公務員となった。当初就職を希望していた生徒のうち、9名が進学に切替えた。今年度は、行政事務・税務の受験者はいなかった。
- ・例年は公務員→民間企業だったのが、就職も厳しいため、公務員自体をあきらめてしまうケースがある。
- ・成績は良いが、真面目でおとなしい生徒が就職試験に落ちてきてしまった。自己アピール力やプレゼンテーション能力をつけていく指導（場当たりのではなく）が必要だと感じる。

(2) テーマ 「土岐商ショップ推進事業について」

<活動理念>

土岐市駅前商店街の人通りを増やし、土岐市の商品の販路を全国に広げ、土岐市の活性化に寄与する。

<活動成果>

今年度は、生徒が中心の組織を立ち上げ、活動を行った。いろいろな困難があり、乗り越えていく中で、生徒が成長する姿が見られた。また、土岐市長を始め、多くの方にプレゼンテーションをさせていただくという、生徒にとって素晴らしい経験になった。(活動内容は本校ホームページに掲載してあります。)

(3) テーマ 意見交流「これからの土岐商」

意見1 保護者への通知にホームページを活用することは良い。その際に、リピーターを増やすことが重要となる。リピーターを増やすためには、トピックスを見ごたえのあるものに工夫する必要がある。連絡事項をただ文章で掲載しても伝わらない。写真を使い、アピールすると効果的である。例えば、保護者参加の会等の案内を掲載する際には、「このような感じにぎわっていました」と分かる実際の写真(保護者の承諾必要)を使うと良い。

商業という就職というイメージがどうしてもある。現在の中学校は、進学希望の生徒が進学校に行けなければ、私学に行くしかないという考えが、根強い。商業高校の進学状況を、視覚的にアピールしていく必要がある。また、進学先の充実と方法論を工夫すれば成果がでる。

2 学科を活かした進学を。情報系の学科への進学が少ないのでは。

意見2 土岐商の卒業生は、本年度5名の生徒がJR東海に就職した。非常に優秀である。JR東海も景気が悪いが、今後も例年通り求人を行う予定でいる。社員の離職率が非常に低いことから、安心して働ける会社だと考える。

3月5日に変質者が携帯のカメラで本校女生徒のスカートの中を盗撮したという被害があった。こういう被害は、現行犯でないとなかなか逮捕できないという難しさがある。駅前の防犯のため回転灯がつけられており、地元の方も随時パトロールを行ってくれている。

さわやかウォーキングは、駅員でコースを作り、地元の方手作りの行事である。晴れば2000から3000人の参加が見込まれる。土岐商ショップにつなげられると良い。

意見3 駅前ほとんどシャッター街で、その中で、土岐商ショップをやっている。継続が地域の人を惹きつけるので、今後も続けてほしい。

土岐商生徒には、定期的な防災訓練の協力をいただいている。若い生徒の力が必要なので、今後もお願いしたい。

近年、放置自転車を見かけなくなったことから、自転車の盗難が減ってきたと感じる。今後も地域住民としての声かけを行っていききたい。

意見4 若い人が地元就職しないため、消防団が成り立たないという問題が起こっている。災害等に備えて必要なことなので、なんとかしていかなければならない。

生徒にとっては、経験が後々生きてくる。年をとっても勉強していく姿勢など、バイタリティのある生徒を育ててほしい。

6 会議のまとめ

評議員の方々より、「これからの土岐商」について貴重なご意見をいただくことができた。特に今後、ホームページの更なる充実と活用、学科を活かした進路指導と情報発信、土岐商ショップの継続が重要になってくると感じる。

今年度の卒業生が書いた卒業論文からは、生徒が3年間の学校生活を通して多くのことを学び、成長した姿が伝わってくる。難関大学にチャレンジし失敗するも「受験で失敗することができるのは、受験を挑戦した勇気のある人だけだ。」と書いた生徒や、部活動中に怪我をし、活動できない苦しさを乗り越えた生徒が「止まっているときこそ自分を成長させる最大のチャンス」という素晴らしい言葉を残している。

生徒一人一人が様々な経験を通して成長していけるように、これからも学校評議員の方々からの貴重なご意見を参考に「開かれた特色ある学校づくり」を更に推進していきたい。